

Freude

vol. 19.40 2026.8.26 wed

9/20(木) 18:30 } 天王寺
9(木) 18:30 } 区民センター
16(木) 18:30 }
19(土) 13:15~ 西區民センター
(西長堀下車)

さあ、8月も終わっちゃう！

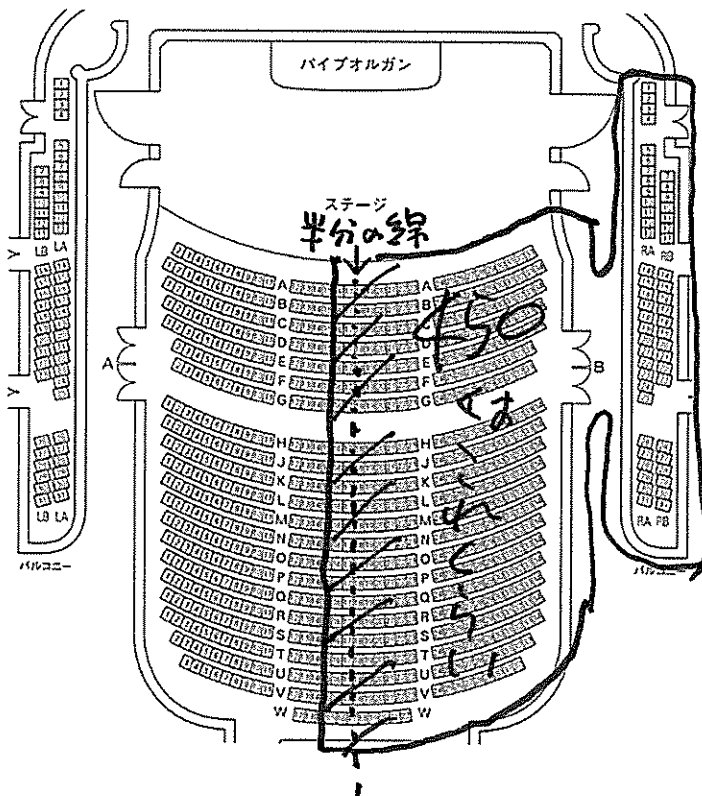
●ステージシート→位置変更バージョンは毎回出すことはしませんので、覚えておいてね！

「男声真ん中バージョン」で練習しています。先週、先生に響きを聴いていただいて、各パート内で位置の入れ替えが少しずつありました。ここ数回は、会場も変わるし、みんなの歌い方もだんだん「おそろおそろ」じゃなくなっていくと、当面、細かい入れ替えが何度もあると思います。先生から指示を受けたら、入れ替わってください、そんでそれを覚えておいてね。シートの修正印刷物を毎回出すことはしません、ヨロシクオネガイシマス！

●チケット状況！

席種		S	A	B	合計
有料席数※		698	76	40	812
団内 申込	7/1	277	11	29	317
	7/8	26	2	5	33
	7/11	8	0	0	8
	7/12	0	1	0	1
	7/15	6	4	0	10
	7/22	4	3	0	7
	7/29	16	3	3	22
	8/5	18	1	1	20
	8/12	5	2	0	7
	8/19	21	4	0	25
申込計		381	31	38	450
残		317	45	2	362

※いずみホール 821 席のうち、9 席はご招待席



みなさん、チケットも好調に推移していますが、目標は満席！せめて 600 越え！もう一回り二回り声掛けよう！

●楽譜価格・アンケート出して！来年の K66 楽譜の団内販売価格（先週号ニュース参照）

①6400 円（オケ譜や先生方用など経費を単価に載せた価格）

②5000 円（オケ譜・送料を載せない価格。オケ譜・送料分約 72000 円は、団員 51 名なら捻出可能）

③4500 円（オケ譜・送料・先生方用を載せない価格。載せない分 99000 円は団員 52 名なら捻出）

せっかくなんで、モーツァルトのミサのこと(^^) 以前載せましたが、おさらい。

モーツァルトは、生涯で 17 曲のミサと、死者のためのミサを 1 曲、作曲しています。 フロイデ演奏↓

k.49	ト長調『ミサ・プレヴィス』	1768	ザルツブルク	
k.65	二短調『ミサ・プレヴィス』	1769	司教は、	
k.66	ハ長調『ドミクス・ミサ』	1769	シュラッテン	2027
k.139	ハ短調『孤児院ミサ』	1768	バッハ	
k.140	ト長調『パストラル・ミサ』	1773?		2025
k.167	ハ長調『三位一体の祝日のためのミサ』	1773	ザルツブルク	2020
k.192	ヘ長調『ミサ・プレヴィス』	1774	司教は、	
k.194	二長調『ミサ・プレヴィス』	1774	コロレド。	
k.220	ハ長調『雀のミサ』	1775	窮屈のあまり	2022
k.257	ハ長調『クレド・ミサ』	1776	1777 年	
k.258	ハ長調『シュパウル・ミサ』	1775	(21 歳) で	2018
k.259	ハ長調『オルガン・ソロ・ミサ』	1775-76	辞職！ただ	
k.262	ハ長調『ミサ・ロンガ』	1775	諸般の事情	2022
k.275	変ロ長調	1777	でまた戻り、	
			再度コロレド	2016
k.317	ハ長調『戴冠式ミサ』	1779	に仕えたが	1988
			1781 年	2006
			遂に脱出！	2015
k.337	ミサ・ソレムニス 八長調	1780		2026
k.427	ハ短調『大ミサ曲』	1782-83	ウィーン拠点	2018
k.626	レクイエム 二短調	1791		※

※レクイエムは、1986、1990、1996、2004、2016、2023 に演奏し、来年 2027 年で 7 回目。

私たち、ミサ曲をたくさん演奏してるので、余り意識していませんが、実はミサって教会の典礼文を使わないといけないし、キリエ・グロリア・クレド・サンクトゥス・ベネディクトゥス・アニュスデイ、と、6 曲も作らないとアカンので、作曲はメッチャタイヘンなのであります。それを 35 年の生涯で 17 曲もつくったモーツァルトはすごい！

さて、来年の曲「モーツァルト K66.ドミクス・ミサ」

モーツァルト 13 歳の作品。10 歳年上の幼なじみが司祭ドミクスとなり、最初のミサを行うとのために書かれたもの。オーケストラ編成が 2 版あります。初演の 7 年後、モーツァルト自身により楽器の増強が行われました、モーツァルトがこの曲を大切にしていたことが伺われます。

今年演奏する「戴冠式ミサ」はモーツァルトも「ミサ職人」の域に達していたときの作品。それに比べて、来年の K66 はまだまだミサデビューしたころ。しかも、大司教はシュラッテンバッハですから、制約もなく、神童ぶりを伸び伸び発揮しています。そのため（！？）全曲は 40 分強！チョット長いため(^^)、私たちは、抜粋で、また編成は原典版での演奏予定です。

来年のメインはもちろんモーツァルト「レクイエム」ですが、その前に、若きモーツァルトの明るいきらめきをお客様に楽しんでいただきたいと思います。

ちなみにアンコール予定のアヴェ・ヴェルム・コルプスも、1791 年、モーツァルトが亡くなる年の作品です。